

2015年8月～ヒロシマ・ナガサキで 学んだ・感じた・考えた～



ヒロシマ・ナガサキ平和の旅報告集

ヒロシマ 2015年8月4日(火)～6日(木)
ナガサキ 2015年8月7日(金)～9日(日)

静岡県生活協同組合連合会
ユーコープしずおか県本部

開催の目的

コープの組合員として、平和の募金の補助を受けて、ヒロシマ・ナガサキを訪れ、自分の目や耳で被爆の実相を確かめます。「ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ」に参加し、世界中の平和を願う人々と交流して核兵器のない平和な21世紀にして行くために私たちができることを学び考え合います。

参加費用の補助について

ユーコープでは、『平和とよりよい生活』を実現していくために、組合員の多彩な要求に基づく活動をすすめています。この活動を組合員みんなで支えあうことを大切に、『平和の募金』に取り組んでいます。今回の「ヒロシマ・ナガサキ平和の旅」には、この募金から参加費用の半額が補助されます。

組合員のみなさんから寄せられた募金への思いを受け止め、参加をされての思いや感想を組合員に還元しましょう。

《広島スケジュール》

1日目（8月4日）

こだま 631号（各駅） ==（7：54着）静岡（ひかり 461号 8：11発） ==（9：08着）名古屋（のぞみ 11号 9：12発） ==（11：31着）広島……広島駅ビル ASSEにて昼食、広島東急REIホテルに移動、荷物預け。

広島平和記念資料館見学	13：00～ 14：30	東館リニューアル工事のため 本館・西館を見学。
【日生協ピースアクション】 被爆の証言①「感じたことを“2016 年に届く”手紙書こう」	15：00～ 16：30	広島県立総合体育館
夕食	18：00	今年は「広島お好み村」へ。

2日目（8月5日）

3県組合員合流	9：00	原爆の子の像に折鶴献納。 3県組合員で記念撮影。
【日生協ピースアクション】 碑めぐり④	9：30 11：00	「被爆柳・本川（ほんかわ）小学 校コース」
【日生協ピースアクション】 2015ヒロシマ虹のひろば	13：10 16：20	広島県立総合体育館 グリーン アリーナ
自由行動		広島城、宮島など、お好みの場所 に立ち寄りました。

3日目（8月6日）

チェックアウト	7：00	宿舎に荷物預け、平和記念公園へ 移動
【広島市】広島市原爆死没者慰霊式 平和祈念式参列	8：00～ 9：00	平和記念公園
【日生協ピースアクション】 サダコと折り鶴の話	10：00～ 11：30	広島県立総合体育館
自由行動	11：30	昼食など
広電「広島駅前」集合	14：15	※広島駅にておみやげなど

広島（のぞみ 36号 15：13発） ==（17：30着）名古屋（ひかり 476号 17：34発） ==
（18：05着）浜松（こだま 672号 18：20発） ==各駅

《長崎スケジュール》

1日目（8月7日）

こだま 631号（各駅） ==（7：54着）静岡（ひかり 461号 8：11発） ==（9：08着）名古屋（のぞみ 11号 9：12発） ==（車内昼食） ==（12：40着）博多（12：56発） ==（14：48着）長崎……「長崎シティホテルアネックス3」に移動、荷物預け。

長崎原爆資料館見学	15：30～	ホテルから徒歩5分。 見学後、夕食。
-----------	--------	-----------------------

2日目（8月8日）

【日生協ピースアクション】 平和のまち歩き④	9：30～ 11：00	原爆落下中心地から浦上天主堂コース
移動・昼食	11：00～ 13：30	長崎市民会館文化ホールへ移動、昼食各自。
【日生協ピースアクション】 ナガサキ虹のひろば	13：10 15：45	長崎市公会堂ホール
自由行動		平和公園内平和の泉前「平和の灯火コンサート」、出島、グラバー邸など。

3日目（8月9日）

平和公園に移動	9：00	9：00平和公園着
長崎市原爆犠牲者慰霊平和祈 念式典	10：35～ 11：43	平和公園平和記念像前
自由行動		ホテルで荷物を受け取り長崎駅へ 昼食・おみやげなど

長崎（かもめ 96号 13：52発） ==（車内昼食） ==（15：53着）博多（のぞみ 48号 16：05発） ==（19：31着）名古屋（のぞみ 48号 19：35発） ==（19：31着）浜松（ひかり 19：35発） ==各駅

《ヒロシマの旅》

広島平和記念資料館見学… 1日目（8月4日）



現在は東館が改修工事のため、本館のみの見学となりました。

～学んだ・感じた・考えた～

原爆の恐らしさと悲惨さをリアルに実感でき、平和の大切さを訴えるヒロシマ平和資料館では、特に全身黒こげのやけどの人形には、衝撃を受けました。今年が見おさめと聞きましたが、残こくではありますが原爆のすさまじさを後世に訴えていくためには個人的には必要だと思います。

写真、実物、模型などで原爆とその被害について見ました。実物や写真は原爆の破壊力と恐ろしさを教えてくれました。もう少し小さな時に来ていたら、怖くなって、夜も眠れなかったかもしれません。それほど、原爆の惨状はインパクトのあるものでした。

日生協ピースアクション… 1日目（8月4日）

被爆の証言①「感じたことを“2020年に届く”手紙書こう」… 1日目（8月4日）



16歳で被爆した吉岡幸雄さんの証言を聞き、思ったことをはがきに書きました。このはがきは2020年に「平和のメッセージ」として各自が書いた宛先に郵送されます。

～学んだ・感じた・考えた～

被爆された被災者・一瞬に絶たれた命・存命の方々の悲劇と悲惨さは、語り継ぐ関係者の一言一言に、その悲痛さに、胸を締めつけられました。また物理的な被害も爆風・高温の残酷な痕跡を、あちらこちらで見ることができました。

被爆者の方々は高齢になられているにもかかわらず、原爆の史実を後世に伝える活動をされています。次世代、次々世代の私達は、しっかり受け止めて平和な世界を作る努力をしないではいけません。

日生協ピースアクション 碑めぐり④… 2日目（8月5日）



～学んだ・感じた・考えた～

猛暑の中、現地のガイド様にあまり知られていない被爆碑・被爆柳・被爆施設等を案内して頂き、木の生命力・近代的な本川小学校とその一角にある被爆した建物の共存。そして、夏休みですが校庭には沢山の灯籠が置いてあり、子供たちが登校していました。

6日の灯籠流しに使うのですが、子供たちに被爆者への鎮魂と平和の尊さを伝承しているように感じました。

被爆樹をまわって本川小学校へ行きました。小学校では地下室でさえ、焼け焦げていたので、その威力を感じました。

日生協ピースアクション 2015ヒロシマ虹のひろば…2日目（8月5日）



全国の生協から 1500 人が集いました。被爆ピアノ・被爆バイオリンの演奏、原爆孤児を題材にした演劇、被爆者の証言をもとに絵画を描く地元高校美術部の生徒さんの作品発表、生協広島組合員による合唱などが行われました。

～学んだ・感じた・考えた～

虹のひろばは生協で参加させて頂いたお陰で、あの素晴らしいステージと展示もゆっくり勉強出来たと感謝しています。

ヒロシマ虹の広場で歌われた「原爆を許すまじ」は、多分初めて聞いたと思いますが、皆様のコーラスが素晴らしく感動しました。

ピースアクション in ヒロシマに参加させていただき、「虹のステージ」「みんなのひろば」涙がとまらない場面から何度もありました。

広島市では、小学校の時代から原爆についての教育時間があるとのことだった。虹のひろばで広島市立基町高校の生徒による「原爆の絵」の展示を見せてもらい、印象に残った絵の作者の女性徒とお話をさせていただいた。

広島市原爆死没者慰霊式平和祈念式参列… 3日目（8月6日）



記念式典の1時間前に参加者全員で会場に着きましたが、すでに多くの人で会場は混雑していました。8時に開会し、原爆投下の8時15分に全員で黙とうを捧げました。

～学んだ・感じた・考えた～

「慰霊式平和祈念式に参列出来たことのしあわせ。まわりの人にも自慢出来誇りにさえ思いました。これも生協のお陰と感謝しております。」

ヒロシマ平和の旅への参加目的は、念願だった広島市原爆死没者慰霊式平和祈念式に参列する事でした。例年TV中継での慰霊・祈念でしたが、参列の機会を得、当企画に感謝しております。

原爆記念日の慰霊式典は、いつも8/6にテレビで見えていました。ゆらゆらと暑気の昇っている広島の平和公園に、まさか私が参加しているとは思ってもみない事でした。今年は原爆が投下されて70年目の節目にあたります。この暑い夏のヒロシマに身を置き、70年前の灼熱の地獄に思いをはせる事、耐え難い当時の様子を改めて見聞きすること、体感すること、そして平和について考える事が今回の私なりの目的でした。

日生協ピースアクション サダコと折り鶴の話…3日目（8月6日）



原爆の子の像のモデルとなった佐々木禎子さんの小学校時代同級生・川野登美子さんによる「サダコと折り鶴のお話」の講演を聞きました。また、参加者のご友人で広島にお住まいの方が当時の様子をご存じでしたので、急きょお話をいただきました。

～学んだ・感じた・考えた～

佐々木禎子さんの友人の川野登美子さんのお話しには心を打たれた。体験者のお話を直に聞き、より一層、戦争について考える機会を与えていただいたように思う。広島から帰ってから、新聞やTVでの原爆や戦争についての関心度が明らかに違ってきた。

「禎子さんは2歳で被爆しましたが、元気で運動が大得意な子供でした。しかし小学校6年の冬に発病し、千羽鶴の願いも空しく同年の秋に天国に旅だってしまった。同級生たちが協力しあい、苦勞して原爆の子の像の建立に漕ぎ着けた。」・・・大変感動しました。

献花台に花をおいたのちに、サダコと折り鶴の話聞きに行きました。平和資料館ですでに話は知っていたけれど、実際に同級生だった方の話で、自分と同じくらいの年で白血病で亡くなった彼女の話を知ると心が痛みました。



8月6日朝 平和大通り路上にて（普段はここでの記念撮影は不可能）

「ヒロシマ平和の旅」に参加して ～学んだ・感じた・考えた～

原爆の一般市民を標的にした、無差別大量破壊の残酷な手段を非難し、核兵器を永遠に葬る必要を痛切に感じました。原爆投下を誘発した戦争を絶滅し、人類皆平等の恒久平和に努力してゆく意を、強くしました。

我が家は家族三人で参加させていただきました。たくさんの組合員さんからの寄付と、事務局やその他の方々のご協力で行かせていただきました。感謝しております。

広島での様々な出来事、出会い、帰ってからもそれぞれの思いを共有することが出来ます。特に高校生の孫にとっては、見聞きすることすべてが初めての体験だと思われます。とても良い機会に恵まれました。さすがにコープの平和のネットワークです。これからもより多くの方が参加されますように願っています。

世論調査によると、ヒロシマと長崎の原爆投下された日付について、正しく答えられなかった人が全国で7割に達しているとのことだった。私自身、日付は答えられたが、長崎の投下時間を間違ってしまった。時間がたつと、記憶があいまいになってしまうことにごく然と

した。自分も含め、人間は忘れやすいから、繰り返し学ぶ必要があると思う。

行く先々に外国の方がとてもたくさんいました。みんなが被爆の悲惨さを広げて行って平和な核兵器のない世界にしていきなさいと思いました。色々な場所で被爆の事を見たり聞いたりして、戦争は人々に悲惨な事、マイナスな事しか与えないなと思います。

ぜひ子供達にも戦争の事やサダコさんの事など知ってほしいと思いました。最終日毎年テレビで見ている慰霊式平和祈念式へ参列できて良かったです。良い思い出になりました。

ヒロシマを訪れたのは初めてだったのですが、初めて原爆の恐ろしさを感じると共に、その時の状況を聞かされ考えると、想像を絶する状況だったんだ・・・と胸が切なくなりました。それでも、ここまで復興してきた広島のスゴさも感じましたが・・・(近代都市にびっくりしました(@@))

ただ、戦争原爆の被害を受けた人達にとっては、街は復興してきましたが、心や身体に受けた放射線の被害は70年経った今でも、戦争が残したつめ痕は消えず悲しい事だと感じました。

個人で行ったらここまで充実した3日間は過ごせなかったと思います。(欲を言えば6日に式典に参加させて頂き帰って来ましたが灯籠流しも見たかったです)欲を言えば！！ですヨ♡自由時間も満喫させてもらいました。

現在の広島は、緑に覆われた公園や歩道・大きな道路・近代的建物・モダンな路面電車・活気ある商店街・沢山の人々等で、ぱっと見ただけでは被爆の面影はありません。しかし本当に被爆関係の企画が盛り沢山の今回の旅で、改めて原爆の悲惨さ・愚かさ・平和の尊さを痛感しました。

世界ではまだ戦争をしたり、貧困、核兵器で大変な国があります。21世紀にむけ、世界中の平和を願うよう参加できる範囲で署名などの生協での活動に参加していきたいと思えます。被爆70年と言う節目の年にヒロシマをおとづれることができ、広島原爆死没者慰霊式平和祈念式参列をはじめ、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

今回の広島平和の旅は自分の人生の中で貴重な体験となりました。戦争の恐ろしさを知るとともに、これからは二度と同じ悲劇を起こしてはいけないと思いました。このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

《ナガサキの旅》

長崎原爆資料館見学…1日目（8月7日）



～学んだ・感じた・考えた～

長崎原爆資料館に初めて入りました。浦上に原爆を落下した理由や、悲惨な写真や、遺品を拝見し、衝撃的でした。学校近くが中心地点なので、子供達の犠牲者が多かったと思いかわいそうになりました。

原爆資料館では原爆投下時刻の時計。逃げまどう人々。今も病気に苦しめられている人が居る事、そしてとても心に残る文章を見つけました。そこには、「家族全滅自分一人になった孤独自殺まで考えた事、あの日がなければ。本当に憎い原爆。」

「原爆落下中心地碑」に千羽鶴を献花、黙とうしてから原爆資料館を見学しました。入口正面に被爆前の長崎の街があり、きのこ雲の映像と11時2分で止まった柱時計が展示され、次は一面焼け野原となった長崎の街がありました。浦上天主堂の生々しい惨状や写真、展示品がわかりやすい為に説明を聞きながら、辛く、恐ろしく、腹立たしくなりました。

原子爆弾落下中心地を見てまわりました。行く前は少し軽い気持ちだったのですが、見ていくうちに被害の多さに驚き、爆弾で熱線・風爆・放射線で命を落とした人、戦後70年たった今でも、被爆して後遺症で苦しんでいる人、そのひとり谷口さん、郵便配達をしている時（16歳）被爆、背中全面を火傷し、うつ伏せのまま整枝を彷徨い一命をとりとめ、現在、長崎原爆被害者協議会会長を務めています。その時の写真が残っていました。余りにも強烈すぎて、家に帰って来ても、私の脳裏から離れません。立っている少女の横に丸焦げになった母親、これが人間かと。むごいです。

2日目（8月8日）

日生協ピースアクション 平和のまち歩き④…2日目（8月8日）



平和ボランティアの案内で、原爆落下中心地碑、如己堂・永井隆記念館、浦上天主堂など平和公園周辺の主要な原爆遺構をめぐり歩きました。

日生協ピースアクション ナガサキ虹のひろば…2日目（8月8日）



～学んだ・感じた・考えた～

コープ虹の広場の文化会館の写真展でみた「焼場で」の少年のこれ以上はない悲しみにじっと耐え口を開いたり目をそらしたり、直立不動の姿勢をくずしたら心が折れてしまうのを歯をくいしばり必死で耐えている姿に涙が止まりませんでした。

「ピースアクション・イン・ナガサキにじのひろば2015」で山口せんじさんや谷口すみてるさんのような大やけどをおった人の話をきくと、本当にこういうことがあったとよくわかりました。

朗読劇はとても被爆の恐ろしさが伝わってきました。語りと表現が素晴らしく、見終わった後、改めて戦争は決してあってはいけない、今の平和を永遠に守っていかなければいけないと思いました。

2日目のピースアクションでは、平均年齢77歳の被爆者歌う会の人々のコーラス、体につけてコーラスで被爆の恐さを語りついで欲しいです。

上条恒彦さんの呼びかけで、会場の皆さんと「花は咲く」を歌うことになりました。歌は音痴で苦手な私ですが、思わず大きな声で歌った時には涙が出てしまいました。

リレートークでは、16才の時被災し、背中全面を火傷し、うつぶせのまま視線をさまよった谷口さんの報告でした。資料などで良く覚えている、赤くただれた背中の中の少年の写真は1年9か月後の姿だと聞き、驚きました。しかも86才になる今年5月、ニューヨークで開かれた会議で、被災体験の証言をされたそうです。肺活量が少なくか細い声でしたが、力強かったです。

長崎市原爆犠牲者慰霊平和祈念式典…3日目（8月9日）



～学んだ・感じた・考えた～

厳重な警備の中、長崎祈念式典に参列させて頂きました。

田上長崎市長は、昨日と同じに力強く「長崎や広島に被爆だけでなく、空襲や沖縄戦、アジアの人々を苦しめた悲惨な戦争の記憶を語り継いでいくよう、呼びかけていました。

戦後生まれの私も、子供達、孫達が平和な未来になる様、正しい歴史を学び伝えたいと、強く思いました。

虹の広場での市長と被爆者代表の谷口さんのお話に引き続き祈念式典での市長の平和宣言、谷口さんの平和の誓いを目の前で聞くことが出来、ほんとうにうれしく、心からの拍手を送りました。

終戦70年、この記念すべき年、長崎原爆地に訪れる事が出来、式典にも参加出来た事に喜びを身体で感じました。



「ナガサキ平和の旅」に参加して ～学んだ・感じた・考えた～

ナガサキに行く前に、げんぱくが落ちた町ときいたら、いなかほいふうけいがうかんできました。しかし行ってみたらいがいとにぎやかで、とてもげんぱくがおちたとは思えませんでした。

せんそうをやらなければ、大やけどをおわなかったし家族や友人をなくさなかったと思います。もうにどとせんそうはいやだと思いました。

小3の娘と参加させてもらいました。軽い気持ちでこのことを自由研究にしようという事になり、帰ってきてから大変でした。私は広島資料館・ドームに2回行っていましたが戦争・原爆について今回は娘といっしょに本を読み話をしました。親子にとって本当に良い勉強になりました。

人として政治歴史を知らないといけない、参加しないといけない！と思いました。私に出来ることは何か？最低限、傷ついた人たちがたくさんいる事、今も苦しんでいる事、外国にもいるという事など、忘れてはいけない！と強く思います。

人間の欲が、多くの人達の人命を奪う、戦争は殺しあいの繰り返しだけ、このおろかなる行為は絶対やってはいけないと思います。

被爆者の高齢化に伴い語り部が少なくなっているので私達が長崎で感じた事を家族知人語っていきたいと思います。被爆された方の冥福お祈りします。

長崎の街の中や式典で、海外からの多くの訪問者（特に若い人）を見かけました。驚きましたが、嬉しく思いました。原爆の写真の前で声もなく見つめています。彼らは、自分の国へ帰り、まわりの人々に伝えてくれるでしょう。原爆雲の下で何が起きたのかを知れば、原爆の恐ろしさを伝えていけます。世界中の人々に伝えることができれば、核兵器廃絶の大きな力になるでしょう。

報道や写真、書物で知ることも大事ですが、やはり現地へ行くと違います。空気の重さ、深さが自分の体へ入ってくる感じです。是非、機会があれば現地へ足を運び体感してください。

被爆70年の節目の年に、初めて長崎を訪れ、永井 隆博士を知り、如己堂を知り、このピースアクションに参加出来た事は、私の宝物になりました。己の如く隣人を愛せよという聖書の言葉を実践することの重みに、涙が溢れてきました。これまでの、私の歩んできた人生を振り返り、母親がしっかりしないと子供たちに平和な世界を残せないと実感しました。長崎で見て来た事を、ユーコープの組合員の方々や家庭で自分の子供たちにも伝えます。

平和の旅という企画に出会ってなければ、広島、長崎は遠くにある県で終わってしまったかもしれません。また、70年という節目であるこの年に参加できて良かったと思います。

自分の子供達も、少しずつでも良いので、戦争と平和について考えたり、興味を持ったり、足を運んだりしてくれると、うれしく思います。

【ヒロシマ・ナガサキ平和の旅参加者】

今年是被曝・終戦70年の節目の年ということもあり、例年になく参加者が多い年となりました。

【ヒロシマ】組合員9名、静岡県生協連2名、事務局職員1名

No	名前	住所
1	金子隆子	伊東市
2	金子宣夫	伊東市
3	金子健一郎(高1)	伊東市
4	原田 正子	浜松市浜北区
5	鈴木 淳子	御殿場市
6	秋山 広美	御殿場市
7	吉野 美穂	富士宮市
8	加藤 泰子	富士宮市
9	秋野 晴治	焼津市
10	江崎玲子	静岡県生協連
11	吉田敬哲	静岡県生協連会長
12	山田和仁	しずおか組織統括

【ナガサキ】組合員11名（うち小学生1名）、静岡県生協連1名、事務局職員1名

No	名前	住所
1	遠藤 はる子	焼津市
2	野口 靖代	静岡市葵区
3	石井 みなみ	静岡市駿河区
4	安本 美保子	沼津市
5	永田 美里	浜松市北区
6	永田 愛夏(小3)	浜松市北区
7	風間 順子	静岡市清水区
8	池田 昌枝	静岡市清水区
9	西島 紀美子	富士市
10	小野 英美	駿東郡長泉町
11	宮崎 良美	駿東郡小山町
12	中村範子	静岡県生協連
13	成田行政	静岡県生協連